

# 予備自衛官 即応予備自衛官

## 処遇改善

### 予備自衛官・即応予備自衛官

### 募集中!

 予備自衛官	<b>現行</b> 1年あたり 約 <b>9万円</b> 1任期(3年)あたり 約 <b>27万円</b>	<b>改定後</b>	1年あたり 約 <b>23万円</b> 1任期(3年)あたり 約 <b>68万円</b>	<b>2.5倍 UP</b>

※いずれも年間5日の訓練に出頭した場合の金額

 即応予備自衛官	<b>現行</b> 1年あたり 1士 2尉 約 <b>54.4~65.8万円</b> 1任期(3年)あたり 1士 2尉 約 <b>163~197万円</b>	<b>改定後</b>	1年あたり 約 <b>81~108万円</b> 1任期(3年)あたり 約 <b>242~325万円</b>	<b>1.6倍 UP</b>

※いずれも年間30日の訓練に出頭した場合の金額

<b>進学支援給付金</b>		<b>現行</b>		<b>改定後</b>	1年あたり 予備自衛官 約 <b>4.8万円</b>	1年あたり 約 <b>36万円</b>	<b>7.4倍 UP</b>
		1年あたり 即応予備自衛官 約 <b>29.1万円</b>	1年あたり 約 <b>54万円</b>		<b>1.8倍 UP</b>		
		支給対象 大学	大学、専門職大学、大学院、短大(専攻科)、高専(専攻科)、専門学校(4年制)		<b>拡大</b>		

進学支援給付金:任期满后、国内の大学等に在学中に即応予備自衛官、予備自衛官に任用されている場合に支給される給付金

予備自衛官等が使用する**被服の計画的な更新や装具等の更新も促進**

# 予備自衛官等制度の概要

	予備自衛官	即応予備自衛官
有事の際の役割	後方地域の警備、後方支援等の任務に就く	第一線部隊の一員として任務に就く
招集区分	防衛招集、国民保護等招集 災害招集、訓練招集	防衛招集、国民保護等招集 治安招集、災害等招集、訓練招集
採用年齢	1佐	2尉～1曹
	2佐～2曹	2曹～3曹
	3曹	士
	士	
	62歳未満	55歳未満
		53歳未満
		52歳未満
		50歳未満
訓練日数	5日／年	30日／年



## 予備自衛官の訓練



● 服務の宣誓

### 1日間訓練

自衛隊を退職して1年未満で採用された場合は、初年度出頭は各地方協力本部等で実施する『1日間訓練』のみです。仕事や職場環境に慣れる時間を十分に取、次年度以降の『5日間訓練』出頭に向けて準備できます。



## 即応予備自衛官の訓練

### 招集訓練の一例

#### 個人としての訓練 (各個訓練)

Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
精神教育 特殊武器防護等 2日間	格闘訓練 小火器射撃 体力検定等 2日間×3回	特技訓練等 2日間×4回
● 訓練開始式	● 射撃訓練	● 空輸訓練
● 精神教育	● 格闘訓練	● 砲手訓練

#### 部隊としての訓練 (部隊訓練)

Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
班レベルの 部隊訓練 4日間×1回	小隊レベルの 部隊訓練 3日間×2回	中隊レベルの 部隊訓練 4日間×1回
● 対空戦闘訓練	● 迫撃砲訓練	● 積載訓練
● 燃料交付	● 小火器戦闘射撃	● 中隊検閲

#### 即応予備自衛官の招集訓練のポイント

■ 訓練は主として土日曜日を中心に設定されます。 ■ 複数の訓練パターンから選択できます。

予備自衛官・  
即応予備自衛官を  
募集しています

予備自衛官等制度  
パンフレットは  
こちらから



青森地方協力本部  
予備自衛官室まで  
お問合せください  
TEL : 017-776-1594